



平成 30 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社ゴールドウイン  
 代表者名 代表取締役社長 西田 明男  
 (コード番号 8111 東証第一部)  
 問合せ先 取締役副社長執行役員管理統括本部長  
 兼管理本部長 二川 清人  
 (TEL 03-3481-7203)

## 第 2 四半期業績予想値と決算値との差異および 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 30 年 8 月 3 日に修正しました平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想につきまして、本日発表の実績値との間に差異が生じたのでお知らせします。

また、平成 30 年 5 月 15 日に公表しました平成 31 年 3 月期の通期業績予想につきましても下記の通り修正いたしましたのでお知らせします。

### 記

#### ●第 2 四半期業績予想値と決算値との差異について

第 2 四半期連結累計期間 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	32,800	2,100	1,900	1,150	50.07
今回実績 (B)	33,405	3,128	2,716	1,563	68.39
増減額 (B - A)	605	1,028	816	413	—
増減率 (%)	1.8	49.0	42.9	35.9	—
(参考) 前第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	28,759	1,401	1,536	1,065	46.65

第 2 四半期個別累計期間 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	27,400	1,750	2,470	1,900	82.72
今回実績 (B)	28,487	2,525	3,284	2,378	104.03
増減額 (B - A)	1,087	775	814	478	—
増減率 (%)	4.0	44.3	33.0	25.2	—
(参考) 前第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	24,356	966	1,656	1,354	59.31

※平成 30 年 4 月 1 日を効力発生日として普通株式 1 株につき 2 株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり四半期純利益を算定しております。

#### 差異の理由

売上高については、「ザ・ノース・フェイス」「ヘリー・ハンセン」等アウトドア関連ブランドの春夏商品の消化が順調にすすみ、秋冬商品の立ち上がり販売も好調で大幅増収となり、利益についても増収による粗利益の増加に加え、直営店や e コマース販売等の自主管理型売上の拡大、調達原価率低減や「エレッセ」「スピード」「ダンスキン」等アスレチック関連ブランドの販売ロス的大幅削減などにより修正予想を上回る結果となりました。

●業績予想の修正について

通期連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	75,000	7,500	8,000	5,300	233.64
今回修正予想（B）	80,000	9,100	9,500	6,300	275.48
増減額（B－A）	5,000	1,600	1,500	1,000	－
増減率（％）	6.7	21.3	18.8	18.9	－
（参考）前期連結実績 （平成30年3月期）	70,420	7,102	7,833	5,174	228.09

通期個別業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	64,000	6,200	7,100	4,850	213.80
今回修正予想（B）	68,500	8,000	9,200	6,400	279.86
増減額（B－A）	4,500	1,800	2,100	1,550	－
増減率（％）	7.0	29.0	29.6	32.0	－
（参考）前期個別実績 （平成30年3月期）	60,288	5,668	6,719	4,704	207.39

※平成30年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

修正の理由

第2四半期累計の実績が好調に推移したことに加え、10月以降も秋冬商品の販売が順調で、自主管理型売上也好調で増収基調が続いており、連結・個別ともに売上高・利益、全て公表値を上回る見込みとなったことから通期の業績予想を修正いたします。

以 上